明日からできる
個別最適な学びと協働的な学び
【特別支援】

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて



千葉県教育庁東葛飾教育事務所指導室

障害特性に配慮した個別最適な学び

合理的配慮



（参考）合理的配慮事例集

指導の個別化

教師が支援の必要な子どもにより重点的な指導を行うことで効果的な指導を実現

構造化	指示や手順の視覚化、タイムタイマーの活用
ICT	ICTを活用した振り返り、動画活用、音声ツール
環境調整	音や光の刺激の調整、座席の配慮、クールダウン場所の確保

学習の個性化

児童生徒の興味関心に応じた異なる目標に向けて学習を深め、広げる

内容	興味・関心の高い題材設定、体験的に学ぶ
自己決定	児童生徒の自己理解・自己決定を育む場面設定

自立に向けた協働的な学び

関わり合い、社会自立を意識しながら学ぶ

グループ学習 ソーシャルスキルトレーニング ロールプレイング、発表	相手の気持ちを考える、場面ごとの行動を学ぶ 伝え方を知る、表情を読み取る、他者の気持ちを理解 「困った」を伝える、報告する
学級活動、係活動、 職業（作業学習）	役割分担、仕事として活動、集団の一員としての学び
交流及び共同学習	お互いを尊重し合う大切さを体験的に学ぶ機会 相互理解や認識が深まる

【段階的な指導・支援】
ペア→グループ→小集団
大人との関わり→子ども同士



自立活動を一人一人の学びの中心に

障害による困難の主体的な改善・克服を目指す

特別支援学校学習指導要領解説　自立活動編



６区分２７項目を相互に関連付けて単元計画や授業づくりを行うことが大切です。

１ 健康の保持
(1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること
(2) 病気の状態の理解と生活管理に関すること
(3) 身体各部の状態の理解と養護に関すること
(4) 障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること
(5) 健康状態の維持・改善に関すること

２ 心理的な安定
(1) 情緒の安定に関すること
(2) 状況の理解と変化への対応に関すること
(3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること

３ 人間関係の形成
(1) 他者とのかかわりの基礎に関すること
(2) 他者の意図や感情の理解に関すること
(3) 自己の理解と行動の調整に関すること
(4) 集団への参加の基礎に関すること

４ 環境の把握
(1) 保有する感覚の活用に関すること
(2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること
(3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関すること
(4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること
(5) 認知や行動の手がかりとなる概念の獲得に関することと

５ 身体の動き
(1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること
(2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関すること
(3) 日常生活に必要な基本動作に関すること
(4) 身体の移動能力に関すること
(5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること

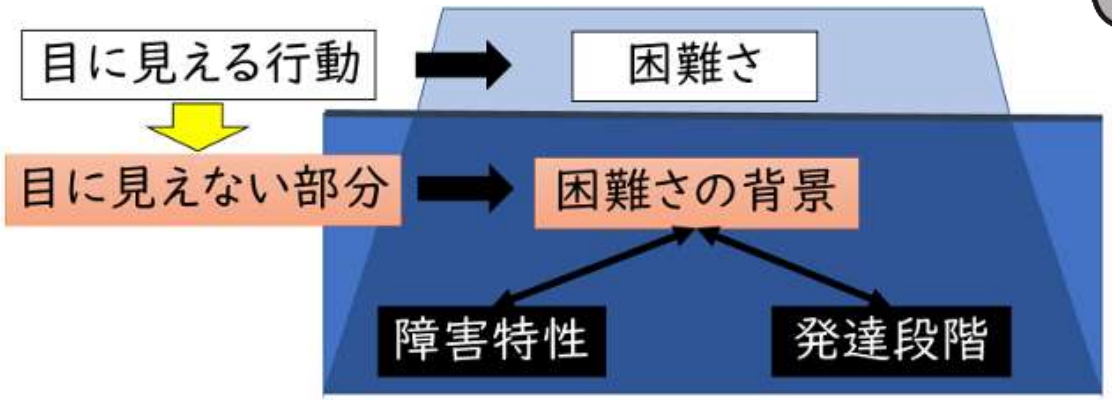
６ コミュニケーション
(1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること
(2) 言語の受容と表出に関すること
(3) 言語の形成と活用に関すること
(4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること
(5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること

一人一人の目標設定に向けて

困難さの背景を考えて
課題を設定しましょう



成長の姿を想像して、長期➡中期➡短期
と段階的に考えましょう



【長期目標】1 年後の姿を想像して、目指す姿を明確にする。(重点目標)

【中期目標】前期・後期など評価期間の中で到達してほしい姿を明確にする。
後期の目標は、前期の評価をもって設定される。(前期目標・後期目標)

【短期目標】単元ごと、もしくは授業ごとに期待する姿を明確にする。
授業や単元の終了時に評価を行い、目標を見直す。

苦手・できない・難しい

わかる・できる・やりたい